## 第2章 ダイナミカルシステムの表現

- 2.1 ダイナミカルシステム
- 2.2 伝達関数

キーワード: ダイナミカルシステム, システムの線形化,

伝達関数

学習目標: 入出力を動的に関係づけるダイナミカルシステムとシステムの線形化の概念を理解する. そして, 伝達関数表現の利点を理解して, 様々なシステムに対する伝達関数の導出方法を習得する.

## 第2章 ダイナミカルシステムの表現

- 2.2 伝達関数
- 2.3 ブロック線図

キーワード: 伝達関数,ブロック線図,等価変換

学習目標:様々なシステムに対する伝達関数の導出 方法を習得する. また, 伝達関数で表された要素の結 合と信号の流れのようすを, ブロック線図により表す方 法を習得する.

#### 2. ダイナミカルシステムの表現

### 2.1 ダイナミカルシステム

#### 線形ダイナミカルシステム

(入力)一(出力):因果関係 自然科学/工学の法則

(運動系) ニュートンの運動の法則

(回路系) キルヒホッフの法則

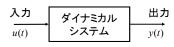


図 2.1 ダイナミカルシステム

## [例2.1] ばね系

ばね定数 K [N/m]

(入力)カ f(t) [N]

(出力)ばねの伸び x(t) [m]

フックの法則

$$x(t) = \frac{1}{K} f(t)$$

(f(t) = Kx(t))

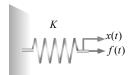


図 2.2 ばね系

#### 静的システム

時刻  $t=t_0$  の出力  $y(t_0)$  は当該時刻の入力  $u(t_0)$  だけから一意に定まり、入力の過去の履歴  $\{u(t): 0 \le t < t_0\}$  に無関係

$$x(t) = \frac{1}{K} f(t)$$

#### ダイナミカルシステム(動的システム)

現在時刻の出力  $y(t_0)$  は入力の現在時刻の値  $u(t_0)$  だけでなく過去の履歴にも依存

#### [例 2.2] 質量一ばねーダンパ系

質量 M [kg]

ばね定数 K[N/m] (入力)力 f(t)[N]

(出力)変位 x(t)[m]

粘性摩擦係数 D [N·s/m]

$$M\frac{d^2x(t)}{dt^2} = f(t) - Kx(t) - D\frac{dx(t)}{dt}$$

$$M\frac{d^2x(t)}{dt^2} + D\frac{dx(t)}{dt} + Kx(t) = f(t)$$

2階の微分方程式

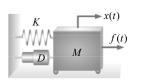
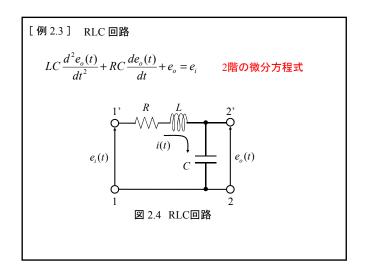
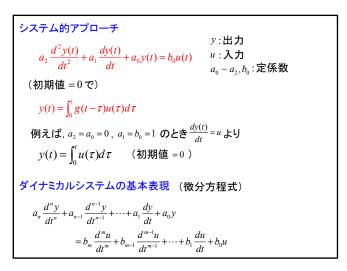


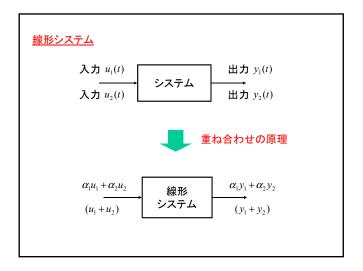
図 2.3 質量一ばねーダンパ系

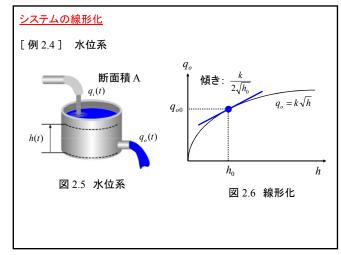


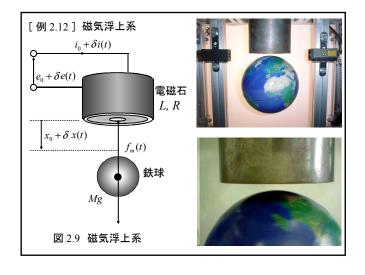
# フィードバック制御入門 第2章











# 微分方程式表現の問題点

2.2 伝達関数

[例 2.5] システムの結合(微分方程式)

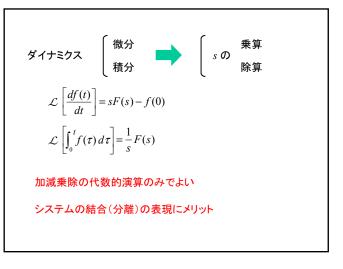
$$\begin{cases} \frac{d^{2}y_{1}}{dt^{2}} + 2\frac{dy_{1}}{dt} + 3y_{1} = \frac{du_{1}}{dt} + u_{1} \\ \frac{d^{2}y_{2}}{dt^{2}} + 3\frac{dy_{2}}{dt} + 3y_{2} = 2\frac{dy_{1}}{dt} + y_{1} \\ u_{1} \longrightarrow y_{1} \longrightarrow y_{2}$$
結合

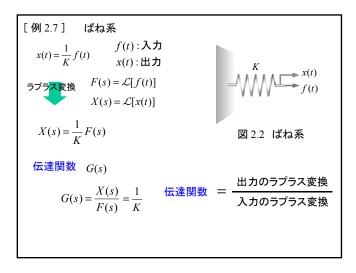
 伝達関数
 =
 出力のラプラス変換

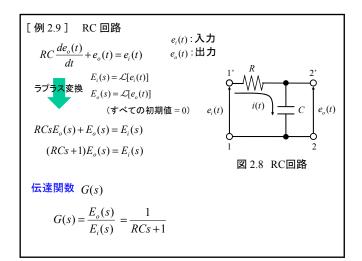
 入力のラプラス変換
 (すべての初期値=0)

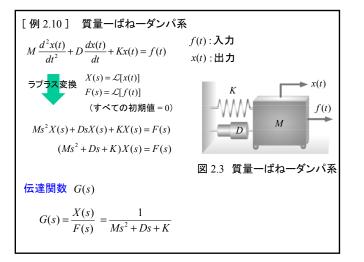
# フィードバック制御入門 第2章

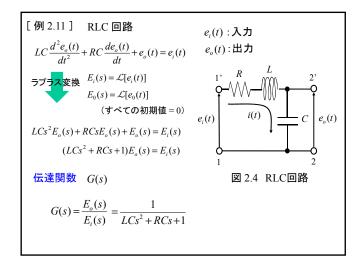
入力のラプラス変換

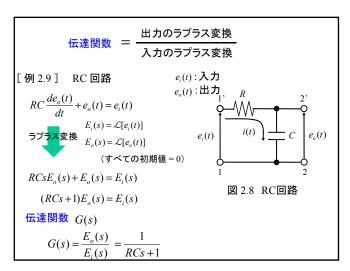


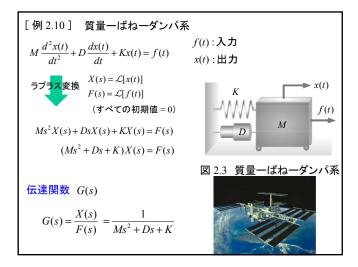


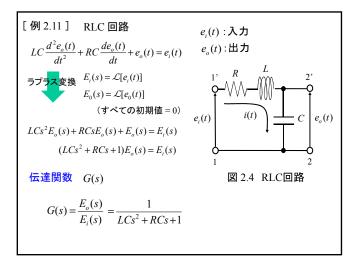










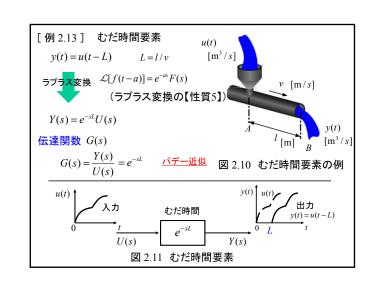


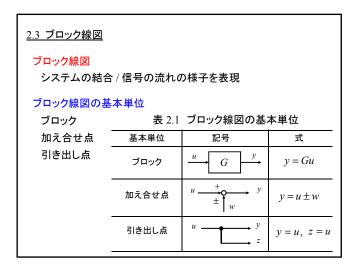
## システム的アプローチ

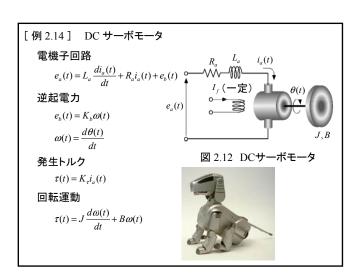
物知的実体の違いを越えてこれらを数理的に記述されるダイナミカルシステムとして普遍的に捉えその中に共通する概念や方法論を構築していく

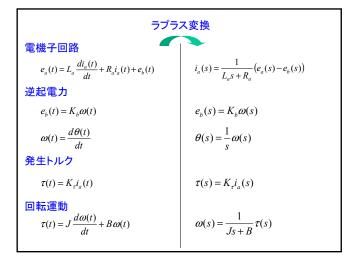
表 2.4 物理システムのアナロジー

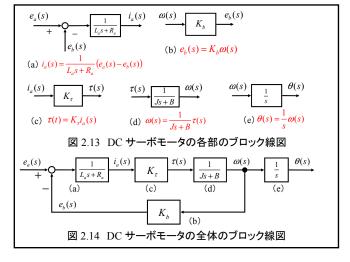
機械系 (直線運動)	機械系 (回転運動)	電気系	水位系	熱系
カ	トルク	電圧	水位	温度
f [N]	τ [N·m]	e [V]	h [m]	$\theta$ [K]
速度	角速度	電流	流量	熱流量
ν [m/s ]	ω [rad/s]	i [A]	$q [m^3/s]$	q [J/s]
変位	角変位	電荷	流体量	熱量
x [m]	$\theta$ [rad]	<i>q</i> [C]	V [m³]	Q [J]
質量	慣性モーメント	インダクタンス		
M [kg]	J [kg·m <sup>2</sup> ]	L [H]		
粘性摩擦係数	粘性摩擦係数	抵抗	出口抵抗	熱抵抗
D [N⋅s/m]	$B = [N \cdot m \cdot s/rad]$	$R [\Omega]$	$R [s/m^2]$	
ぱね定数	ばね定数	容量	液面面積	熱容量
K [N/m]	K [N·m/rad]	C [F]	A [m <sup>2</sup> ]	C [J/K]

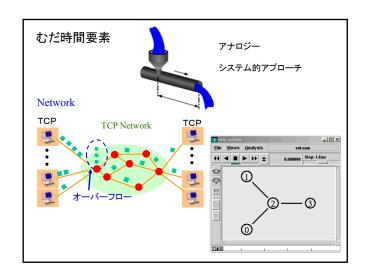


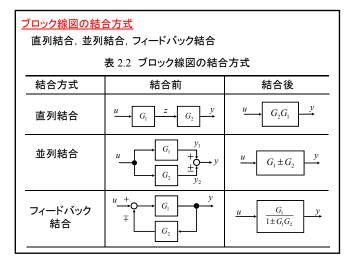


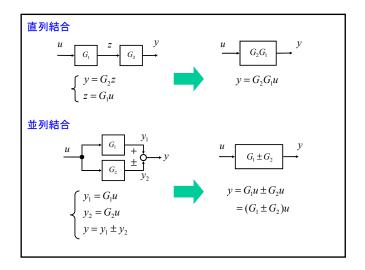


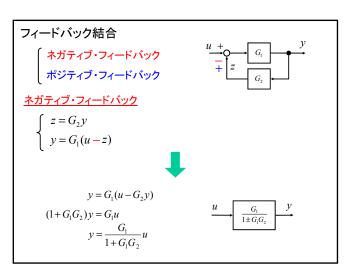


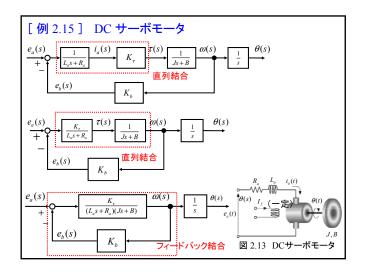












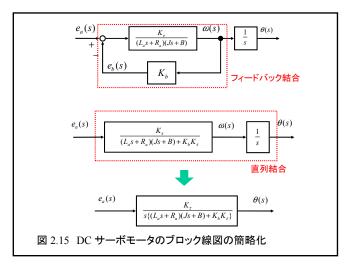
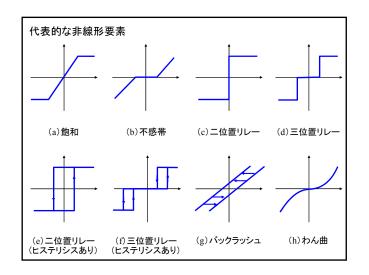
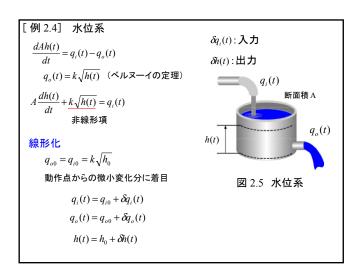


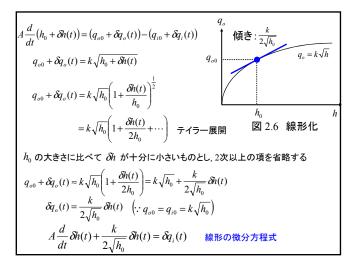
表 2.3 ブロック線図の等価変換				
等価変換	変換前	変換後		
ブロックの 入れ替え	$u \longrightarrow G_1 \longrightarrow G_2 \longrightarrow y$	$u \longrightarrow G_2 \longrightarrow G_1 \longrightarrow y$		
加え合せ点の入れ替え	<i>u</i> + + <i>y</i> + <i>y y y y y y y y y y</i>	<i>u</i> + + <i>y</i>		
- 引き出し点の 入れ替え	u u	u u		

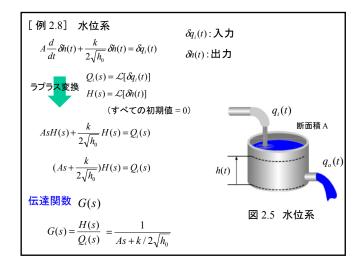
等価変換	変換前	変換後	
ブロックと 加え合せ点の 入れ替え(1)	$ \begin{array}{c} u + \\ v \stackrel{\pm}{\longrightarrow} G \end{array} $	$\begin{array}{c c} u & f & f \\ \hline & & & \\ & & & \\ \hline & & & \\ & & & \\ \hline & & & \\ & & & \\ \hline & & & \\ & & & \\ \hline & & & \\ & & & \\ \hline & & & \\ & & & \\ \hline & & & \\ & & & \\ \hline & & & \\ & & & \\ \hline & & & \\ & & & \\ \hline & & & \\ & & & \\ \hline & & & \\ \hline & \\ \hline & & \\ \hline \\ \hline$	
ブロックと 加え合せ点の 入れ替え(2)	$u \longrightarrow G \xrightarrow{\pm} v$	$ \begin{array}{c} u & + \\ \hline v & 1/G \end{array} $	
ブロックと 引き出し点の 入れ替え(1)	$u \longrightarrow G \xrightarrow{y} y$	u $G$ $y$ $y$ $G$ $Y$	
ブロックと 引き出し点の 入れ替え(2)	$u \longrightarrow G \longrightarrow v$	$\begin{array}{c} u \\ \hline \\ & \\ \hline \\ & \\ \hline \\ & \\ \hline \\ & \\ & \\ \hline \\ & \\ &$	

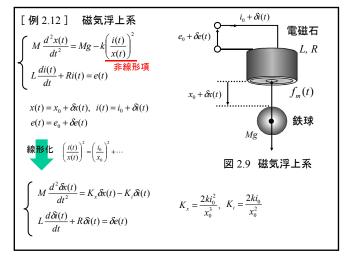












# フィードバック制御入門 第2章

